



北九州市 民児協だより

支え合う
住みよい社会
地域から

第58号
令和8年1月1日発行



●発行／北九州市民生委員児童委員協議会 ●発行者／会長 中杉 長男 ●企画・編集／広報委員会
☎804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた8階 北九州市社会福祉協議会内 ☎093-873-1296 / FAX093-873-1351



会長就任ご挨拶

北九州市民生委員児童委員協議会
会長 中杉 長男
(小倉北区)

令和7年12月1日の一斉改選後、北九州市民生委員児童委員協議会の会長に引き続き就任いたしました中杉でございます。今までと同様に格別のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

また、令和8年の年頭にあたり、民生委員・児童委員をはじめ関係者の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。これから三年間、皆様とともに、地域福祉の増進と安心・安全なまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

現在、私たちを取り巻く社会は大きな転換期を迎えています。少子高齢化の進行、家族や地域のつながりの希薄化、そして孤立や生活困窮など、地域の課題は一層、複雑・多様化しています。国では、子どもから高齢者まで、すべての世代が支え合い、誰もが地域で自分らしく暮らし続けられる「地域共生社会」の実現に向け、包括的な支援体制づくりを進めています。

このようなか、私たち民生委員・児童委員は、日頃から顔の見える関係づくりや、支援の必要な人に寄り添った対応が求められているところです。

世代や立場を超えて人と人との支え合い、誰もが安心して暮らせる地域を築くために、一人ひとりが「支えられ、また支える」関係を広げていくことが、これからの地域福祉にとって何よりも大切です。

本年も、皆様とともに地域の課題に寄り添い、『誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会づくり』に向け、活動の更なる充実をめざしてまいりたいと思います。

結びに、皆様のますますのご活躍とご健康を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新役員紹介

一斉改選に伴う、北九州市民生委員児童委員協議会の新役員をご紹介します。



筆頭副会長
(戸畑区)
幾島 登志雄



副会長
(門司区)
小島 有然



副会長
(小倉南区)
川崎 三英子



副会長
(若松区)
阿部 芳美



副会長
(八幡東区)
永田 恭子



副会長
(八幡西区)
野中 悦子

CHECK 市民児協理事

門司区 岩谷くる美 井口 恵子
小倉北区 前田 純恵 松井 厚樹
小倉南区 松本 敦子 西本 澄雄
若松区 宇崎 明則 重住 秀子
八幡東区 松田 京子 佐野 正彦
八幡西区 三橋 絹子 伊藤 一宏
戸畑区 松尾 定俊 井筒 美穂

令和7年度 一斉改選 民生委員・児童委員配置状況(令和7年12月1日現在)(単位:人)

区(地区数)	定数	世帯担当委員配置数			主任児童委員配置数			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
門司(17)	194	54	86	140	7	27	34	61	113	174
小倉北(23)	321	69	186	255	5	37	42	74	223	297
小倉南(24)	302	93	146	239	2	46	48	95	192	287
若松(12)	138	45	64	109	2	22	24	47	86	133
八幡東(12)	138	38	68	106	0	21	21	38	89	127
八幡西(33)	386	71	228	299	3	56	59	74	284	358
戸畑(12)	114	23	65	88	3	19	22	26	84	110
合計(133)	1,593	393	843	1,236	22	228	250	415	1,071	1,486

※平均年齢 65.8歳(世帯担当委員:68.2歳、主任児童委員53.9歳)

近年の一斉改選の状況

一斉改選年	定数(人)	配置数(人)	充足率(%)	地区数(地区)
H28	1,582	1,541	97.4	133
R1	1,591	1,527	96.0	133
R4	1,593	1,512	94.9	133
R7	1,593	1,486	93.3	133

報告

令和
7年度

全国民生委員児童委員大会(北海道大会)

日程：9月4日(木)～5日(金) 場所：北海きたえーる等

この大会は全国の民生委員・児童委員および民児協関係者の参加により開催され、今年度は本市から民生委員・児童委員17名と事務局が参加しました。

大会1日目は、式典、表彰、特別講義、大会宣言、アトラクションが行われ、本市からは優良地区民児協として若松区の古前地区、会長表彰に4名、役員表彰に4名、功労者表彰に39名、永年勤続表彰に23名が表彰されました。



1日目：式典



参加者全員での集合写真

また、特別講義では、重度障害者とボランティアの交流を描いた『こんな夜更けにバナナかよ』の作者であるフリーライターの渡辺 一史氏による講演がありました。特に印象深かったエピソードとして、「タバコ介助」に関する話が紹介され、喫煙が健康に悪いと分かっているか、本人の意思を尊重するか、健康のために拒否するか。ボランティアが悩んだ末に口論となった例を通じて、パターンナリズム^(註)と自己決定の関係、そして本音

でぶつかり合える信頼関係の重要性が語られました。

大会2日目には、活動交流集会・シンポジウムも開催され、全国各地の活動事例の紹介と活動に関わる課題を通して、今後の活動のヒントを学ぶ機会となりました。

(注)…援助者が「本人のため」と判断して、本人の意思より援助者の判断を優先してしまうこと。

報告

令和
7年度

北九州市民生委員児童委員大会

日程：10月20日(月) 場所：J:COM北九州芸術劇場 大ホール

去る10月20日(月)、J:COM北九州芸術劇場 大ホールにて令和7年度北九州市民生委員児童委員大会を開催しました。今大会は、八幡西区が当番区として、大会の進行や会場設営、誘導等を行い、市内から多くの民生委員が参加しました。

第1部の式典では、大庭副市長および村上副議長から、日頃の活動に対する感謝の言葉をいただきました。その後、表彰においては受賞者388名と1地区を代表し



式典のようす



馬場 芳子氏による代表謝辞

て、全国民生委員児童委員連合会会長表彰を受賞した馬場芳子氏(八幡西区陣山地区)が代表謝辞を述べました。

続く第2部では、認定特定非営利活動法人 スチューデント・サポート・フェイスの谷口仁史代表理事を講師にお招きし、『『どんな境遇の子どもも見捨てない!』アウトリーチと重層的な支援ネットワークを活用した多面的アプローチ ～社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立に向けて～』と題し、ご講演いただきました。

ひきこもり支援の現場で積み重ねられた経験と、当事者に対する丁寧な向き合い方に強く共感を覚えることができ、民生委員として、支援の対象者を「待つ」「見守る」姿勢の重要性を改めて認識する機会となりました。



講師 谷口 仁史氏

♪第43回リレーエッセイ

八幡西区引野地区
民生委員児童委員協議会
会長 野中 悦子



仕事、PTA、地域、ボランティア等、どの活動も人との繋がりを広げ、周りの方々に助けていただきながら自分が人の支えになっていることに喜びを感じています。これからも民生委員として楽しく活動していきたいと思っています。皆さんよろしく願います。

主任児童委員の仕事に慣れた頃、体調を悪くした地区会長の代わりに会長となり、15年が過ぎました。主任児童委員だった仲間も地区会長になり民生委員としての活動もネットワークも広がり、活動が楽しくなりました。地域の人達からも声をかけられるようになり、困っている方の相談に耳を傾けることも増えました。

主任児童委員の仕事に慣れた頃、体調を悪くした地区会長の代わりに会長となり、15年が過ぎました。主任児童委員だった仲間も地区会長になり民生委員としての活動もネットワークも広がり、活動が楽しくなりました。地域の人達からも声をかけられるようになり、困っている方の相談に耳を傾けることも増えました。

民生委員を続けてきて

今回は、戸畑区の民生委員・児童委員さんです。お楽しみに♡



特集 **こんなときどうする?** What Would You Do?

～活動記録の書き方①～

民生委員・児童委員に配付されている「活動記録」について、多くの新任委員も迎えた今、その意義と記入の方法について、まとめました。

ベテラン委員の方も、改めて確認いただければと思います。今回は相談・支援以外の事例を挙げてみました。

●活動記録はどんなことに役立っている？

活動を記録し、自らの活動を定期的に振り返ることで、支援の参考とするとともに、以後の活動へと役立ててすることができます。

全国の約23万人の活動記録は、集計・分析され、

活動の現状を明らかにするとともに、国民の生活課題の動向を踏まえ、各種福祉政策の企画・立案に役立っています。

●記入上の留意点(ポイント)

- 1 民生委員・児童委員として活動した内容を記録しましょう。
- 2 できる限り、活動した日に記録しましょう。
- 3 記入の判断に迷う場合は、他の委員や民児協会長に相談してみましょう。
- 4 支援を必要としている人の詳細な記録は福祉台帳(世帯表)を活用しましょう。

実際の記入例

民生委員として活動したことを日記のようにご記入ください

活動概要	その他の活動						訪問回数	
	実態把握・調査・協力 (1)	参加・協議・行事・事業・活動 (2)	地域・自主・活動 (3)	運営・研修・協働 (4)	事・確認・証明(調査・業務等) (5)	通告・発見・仲介 (6)	要保護児童の発見・仲介 (7)	その他の訪問・活動 (8)
前任者が訪問していた、高齢者Aさん宅を訪問し、挨拶をし、近況を伺った。							—	
地区民児協の月に1度の定例会に出席した。				—				
自治会主催の新年会に民生委員として出席した。	—							

民児協以外が実施する行事・会議などに、民生委員として参加する場合

民児協の行事・会議などに、参加する場合

見守り、声かけなどのため訪問し、会えた場合は(7)不在の場合や、その他の訪問は(8)



※2頁～4頁の寄稿者等の役職は、一斉改選前のものです。

広報委員(小倉北区)

秋田 佳代子

「民児協だより」をお読みいただきありがとうございます。
本号の発行で3年間の活動が終了となりました。
ご協力いただきました皆様には心より感謝申し上げます。

編集後記

報告

令和7年度

中堅民生委員・児童委員研修会

日程：令和7年10月29日(水) 場所：ウェルとば3階 中ホール

中堅民生委員・児童委員としての役割や、対人支援等の方法を学ぶことを目的とした研修会を就任2期目の民生委員・児童委員を対象に開催しました。

今回は、約70名の委員の参加があり、「民生委員・児童委員の対人支援における考え方とその方法」と題し、昨年に引き続き、九州大谷短期大学 幼児教育学科 教授の中村先生にご講演をいただきました。

100分の講義の中で、住み慣れたまちで

安心して暮らしていくためには、民生委員・児童委員だけが抱え込むのではなく、地域住民がみんなで支え合うことが重要であると熱く話され、参加者が勇気づけられる有意義な研修会となりました。

九州大谷短期大学
教授
中村 秀一氏



未来の担い手を地域で 育む子ども民生委員

戸畑区東戸畑地区
民生委員児童委員協議会

会長 片岡 生子

令和7年10月に、東戸畑地区敬老会が戸畑中央小学校の体育館で行われました。多くの方が敬老会招待状を持って受付へ行きます。そこで大活躍するのが小中学生14名の『東戸畑子ども民生委員』のメンバーです。敬老会を楽しみに来場された方々の手荷物を運び、席までご案内します。子どもたちは優しく、ゆっくりと案内します。終了後は笑顔でお見送りして、会場の片付けまで大活躍でした。

東戸畑地区では『子ども民生委員』が、未来の地域作りの担い手として活動を広めています。この取り組みは令和2年度に8名の小学生から始まりました。毎年、地区会長から一人ひとりに委嘱状が手渡され、活動への意欲を高めています。今では14名に増え、中学生になっても継続して参加するなど、活動の輪は着実に地域に根付いています。

この活動の目的は、子どもたちが福祉活動や地域行事へ参加することを通して、小さな子どもや高齢者な

ど多世代の方々と交流し、思いやりある地域作りをしていくことです。今年度はさらに活動をひろげ、消防署の救命講習や福祉勉強会で知識を深めています。定番となってきた夏祭りや敬老会は企画や運営に携わり、自分たちがやるべきことは、何か？を考えます。子どもたちの意見を取り入れたイベントは地域に新しい風を吹き込んでいます。

活動を続ける中で子どもたちの成長はもちろん、その姿に心を動かされた保護者の皆様も積極的に協力してくださるようになりました。子どもたちを中心に、人と人が繋がり、地域活動に多世代の方々がお互いを思いやる気持ちが広がってきました。子どもたちの純粋な視点と行動力が世代と世代をつなぎ、東戸畑地区の未来をより温かく豊かなものにしていきます。これからも地域全体でこの素晴らしい活動を応援していきます。



案内状をもって訪問♪



座席案内のようす

活動最前線 ほつとひろば

地域のつながりの 大切さ

小倉南区城野地区
民生委員児童委員協議会

主任児童委員 池田 陽子

主任児童委員として活動を始めてから二期目が終わろうとしています。

一期目はのびのび赤ちゃん訪問や入学説明会・学校行事の参加等で子育て家庭に主任児童委員を知ってもらう活動から始めました。

二期目となった今は、その経験を生かしながら、より一歩踏み込んだ活動を意識しました。

特に大きな転機となったのは、コロナ禍での子育て支援です。赤ちゃん訪問も激減し、学校行事にも参加出来ない様になり、主任児童委員部会の学習会で情報交換をする中で、「安心して集まれる場が必要だ」と強く感じました。

コロナ禍が落ち着いた頃、元々私の地域の子育てサークルが活動してなかった事もあり、地域で親子が気軽に集まれる場を作ろうと、民生委員・主任児童委員・子育てサポーター・市民センターと協力して、子育てサークルを立ち上げました。

子育てサークルでは親子で一緒に遊

んだり、簡単な工作を楽しんだり、保護者同士で子育ての悩みを気軽に話し合ったりしています。

最初は数組の参加から始まりましたが、回を重ねるごとに口コミやチラシ等で広がり、今では「地域で知り合いができて心強い」「ここに来ると気持ちよくなる」といった声をもらえるようになりました。

この活動を通じて改めて感じるのは、地域のつながりの大切さです。子どもたちが安心して成長できる環境は大人同士の支え合いから生まれます。

これからも子どもとその家庭を温かく見守る居場所づくりを心がけ、地域の皆さんと一緒に歩んでいきたいと思います。



主任児童委員部会



子育てサークル クリスマス会